

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	脳梁を含むSubcallosal artery (SCA)領域脳梗塞と離断術後の症状の差の検討
研究責任者	研究責任者;脳神経外科 林正孝 分担研究者;てんかん科 藤本礼尚
研究実施体制	脳梁下動脈梗塞群と脳梁離断術群の記憶評価を比較した。解析およびデータ収集(藤本);単一施設、非盲検、後方視
研究期間	臨床研究審査委員会承認日~2021年12月
対象者	2009年2月から2021年12月までに当院にSCA領域脳梗塞で受診した方と脳梁離断術を受けた方
研究の意義・目的	脳梁を含むSCA領域脳梗塞と脳梁離断術後の症状の差を比較検討する事
研究の方法	【方法】SCA脳梗塞群と脳梁離断術群の記銘力変化を比較。 【選択基準】上記症例中、SCA領域脳梗塞と6ヶ月以上のフォロー期間がある脳梁離断術後患者 【除外基準】1.SCA領域以外の脳梗塞、2.< IQ80 3.全脳梁離断 【予定症例数】25 症例 【症例数の設定根拠】2009年2月から2021年12月までで上記条件に合致した例数
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳神経外科 (氏名) 林正孝 TEL:053-474-2222(代表) 脳神経外科外来 9:00~17:00 平日